

表 1361 被嚢性腹膜硬化症(EPS)の既往 治療方法(新分類)別(腹膜透析の経験があるか現在施行している患者)

治療方法 (新分類)	なし	あり(剥離手術既往あり、 ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往あり、 ステロイド使用歴なし)	あり(剥離手術既往なし、 ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往なし、 ステロイド使用歴なし)	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析	5,123	372	22	51	49	5,617	182	608	6,407
(%)	(91.2)	(6.6)	(0.4)	(0.9)	(0.9)	(100.0)			
Off-line HDF	189	14		4	1	208	7	21	236
(%)	(90.9)	(6.7)		(1.9)	(0.5)	(100.0)			
On-line HDF	1,296	89	3	8	8	1,404	32	133	1,569
(%)	(92.3)	(6.3)	(0.2)	(0.6)	(0.6)	(100.0)			
Push/Pull HDF									
(%)									
ハイオフィルトレーション	4					4		3	7
(%)	(100.0)					(100.0)			
IHDF	41	5		1	1	48	7	5	60
(%)	(85.4)	(10.4)		(2.1)	(2.1)	(100.0)			
血液濾過									
(%)									
血液吸着透析 (リクセル等使用)	44	7		1	1	53	2	5	60
(%)	(83.0)	(13.2)		(1.9)	(1.9)	(100.0)			
在宅血液透析	86	2		1		89	1	8	98
(%)	(96.6)	(2.2)		(1.1)		(100.0)			
腹膜透析 (CAPD)	3,039	12		8	2	3,061	11	1,830	4,902
(%)	(99.3)	(0.4)		(0.3)	(0.1)	(100.0)			
腹膜透析 (APD)	1,800	11	1		2	1,814	21	940	2,775
(%)	(99.2)	(0.6)	(0.1)		(0.1)	(100.0)			
腹膜透析 (CCPD)	733	1			1	735	15	342	1,092
(%)	(99.7)	(0.1)			(0.1)	(100.0)			
合計	12,355	513	26	74	65	13,033	278	3,895	17,206
(%)	(94.8)	(3.9)	(0.2)	(0.6)	(0.5)	(100.0)			
記載なし									
(%)									
総計	12,355	513	26	74	65	13,033	278	3,895	17,206
(%)	(94.8)	(3.9)	(0.2)	(0.6)	(0.5)	(100.0)			

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。

\*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy

2015年調査